

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 1 月 24 日 (2013.1.24)

【公表番号】特表 2012-530249 (P2012-530249A)

【公表日】平成 24 年 11 月 29 日 (2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報 2012-050

【出願番号】特願 2012-515367 (P2012-515367)

【国際特許分類】

G 0 1 N 1/00 (2006.01)

G 0 1 N 1/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 1/00 1 0 1 H

G 0 1 N 1/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 28 日 (2012.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器室 (7) に含まれる媒体の少なくとも一つのパラメーターを測定するためのセンサ配列 (10, 10', 10'', 10''') を受け入れるためのセンサアダプタ (3) を有する容器 (2) であって、前記センサアダプタ (3, 3', 3'', 3''') は、前記容器室 (7) の壁上に配置され、前記センサ配列 (10, 10', 10'', 10''') を適用するための前記容器室 (7) へと延伸する受け入れチャネル (8, 8', 8'', 8''') 内に外部アクセス可能な受け入れ開口 (9) を有し、センサアダプタ (3) 内の受け入れチャネル (8, 8', 8'', 8''') は、容器室 (7) に向かう方向に、膜 (13, 13', 13'', 13''', 13''', 13''', 13''', 14, 14', 14'', 14''') により形成される少なくとも一つの境界面を有し、測定される媒体または媒質は前記膜を介して前記センサ配列 (10, 10', 10'', 10''') に供給されることを特徴とする、前記容器 (2)。

【請求項 2】

膜 (13, 13', 13'', 13''', 13''', 13''', 13''', 14, 14', 14'', 14''') が、0.1 ~ 0.4 μm の孔寸法を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 3】

膜 (13, 13', 13'', 13''', 13''', 13''', 13''', 14, 14', 14'', 14''') が、0.2 μm 以下の孔寸法を有し、無菌バリアを形成することを特徴とする、請求項 2 に記載の容器。

【請求項 4】

膜 (13, 13', 13'', 13''', 13''', 13''', 13''', 14, 14', 14'', 14''') が、親水性、疎水性または撥油性の性質を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 5】

膜 (13', 13'', 13''') が、親水性の性質を有する一つ以上の領域 (22) および疎水性の性質を有する一つ以上の領域 (23) を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 6】

膜（１３，１３'，１３''，１３'''，１３''''，１４，１４'，１４''）が、天然高分子から作られることを特徴とする、請求項１～５のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 7】

膜（１３，１３'，１３''，１３'''，１３''''，１４，１４'，１４''）が、酢酸セルロースまたは再生セルロースから作られることを特徴とする、請求項６に記載の容器。

【請求項 8】

膜（１３，１３'，１３''，１３'''，１３''''，１４，１４'，１４''）が、合成高分子化合物から作られることを特徴とする、請求項１～５のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 9】

膜（１３，１３'，１３''，１３'''，１３''''，１４，１４'，１４''）が、ポリスルホンから作られることを特徴とする、請求項８に記載の容器。

【請求項 10】

受け入れチャンネル（８）が、容器室（７）の中へ突出するアダプタシャフト（６）を形成し、前記アダプタシャフト（６）は、異なる性質を有する連続的に配置された２つの膜（１３，１４）を有し、閉じられた端（１２）を有することを特徴とする、請求項１～９のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 11】

受け入れチャンネル（８'）が、容器室（７）の中へ突出するアダプタシャフト（６'）を形成し、前記アダプタシャフト（６'）は、容器室（７）内のアダプタシャフトの端を閉じる第一の膜（１３'）と、アダプタシャフトの周に配置され、第一の膜（１３'）と異なる性質を有する第二の膜（１４'）とを有することを特徴とする、請求項１～９のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 12】

受け入れチャンネル（８''）が、容器室（７）の中へ突出するアダプタシャフト（６''）を形成し、前記アダプタシャフト（６''）はその周に配置された第一の膜（１３''）を有し、前記アダプタシャフト（６''）は、閉じられた端と、容器室（７）の外側に位置するアクセス開口（２０）を有して外部へつながるサイドチャンネル（１９）とを有し、前記アクセス開口（２０）は第二の膜（１４''）に覆われていることを特徴とする、請求項１～９のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 13】

センサ配列（１０'''）が、圧力を生成するために長軸方向へ動くことができるように、受け入れチャンネル（８'''）内のブランジャーの形で配置されることを特徴とする、請求項１～１２のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 14】

センサ配列（１０''''）が、蛇腹（２４）により受け入れチャンネル（８''''）内を長軸方向に動くことができるように配置されることを特徴とする、請求項１～１３のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 15】

センサアダプタ（３，３'，３''，３'''，３''''）が、ベータ線、ガンマ線およびＥＴＯのうちの少なくとも一つに耐性がある素材を含むことを特徴とする、請求項１～１４のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 16】

容器（２）が、使い捨てバイオリアクター（１）の形であることを特徴とする、請求項１～１５のいずれか一項に記載の容器。